

学び × 主体性 × デジタル

田原市立
田原南部小学校



田原市は、コロナ禍だった令和2年度に小中学校の全児童・生徒にタブレット端末を導入し、環境を整備しました。

デジタル技術を使いながら、子どもの主体性を大切に、深い学びへとつなげるための取り組みをご紹介します。

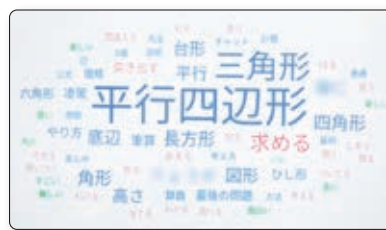
取材したこの日、5年生の授業は「台形の面積を求める公式を見つけよう」でした。

授業はまず、「テキストマイニング(下図)」という技術を使って、これまでの学習を振り返る所から始まります。

自分なりの考えをノートにまとめたら、タブレットのカメラで撮影して投稿フォームに画像を共有します。友達の考えも参考にしながら、自分の考えを深めていく子どもたち。その後の発表では、多様な考えが飛び交い、活発な意見交換が行われていました。



◀ ノートをカメラで撮り、画像を共有し、みんなに見てもらおう。



◀ テキストマイニング: これまでの授業の感想のキーワードが、自動的に単語の大小や色別で表現される。

インタビュー INTERVIEW

デジタル技術を活用するにあたり

デジタル技術を使っても使わなくても、子どもたちが主体的に学習に取り組めることが大切なので、根本的な考え方は今までと変わりません。授業の感想を瞬時にグラフ化できたり、考えを共有できたり、記録を保存し易いのはデジタルならではのですね。

教員側もトライ&エラーを繰り返している最中ですが、新しい取り組みを進めるには及び腰になってはいけないと思っています。

身に付けてほしい力

ICT(※)を使えば、離れた所にいる人とでも、瞬時につながることができます。

これからの世代には、デジタル技術を使いこなすことはスタンダードです。子どもたちには、その長所と短所をよく理解し、他の道具と同じように当たり前に使いこなせるようになってほしい。田原市に住みながらも、世界中の人とつながって、新たな事業を興し、次の時代に必要なものを生み出せる可能性が広がると思います。

※「情報通信技術」の略。



田原南部小学校長
渥美 謙一先生